

巽和行日本学術会議第三部会員が ICSU(国際科学会議)理事に当選

オークランド(ニュージーランド)で開催された ICSU(International Council for Science: 国際科学会議)第 31 回総会において、会議期間中の平成 26 年 9 月 3 日(水)午後、執行役員及び理事の選挙が実施されました。日本からは、日本学術会議の推薦で、理事の一人に巽和行第三部会員が立候補していました。ICSU の構成会員である約 120 のナショナルメンバーと約 30 のユニオンメンバーの代表による投票の結果、巽和行第三部会員が ICSU 理事に選出されました。

ICSU は、1931 年(昭和 6 年)に設立された非政府、非営利の国際学術機関であり、事務局はパリに置かれています。その使命は、人類の福利に貢献するため、世界規模の環境や社会的な課題について国境、学問分野を超えて科学者の叡智を結集し、科学技術の国際協力を推進し、科学技術に関する様々な課題について政府や市民社会に対して助言を行うこと等です。

巽和行先生(名古屋大学物質科学国際センター長を経て、現在同センター特任教授)は、日本学術会議の第三部(理学・工学)副部長であり、国際委員会副委員長を務めています。また、2012 年から 2013 年までの 2 年間、ICSU のユニオンメンバーの一つである国際純正・応用化学連合(IUPAC)の会長を務められました。IUPAC は、1919 年に設立された各国の化学系学会・組織による国際的な連合体で、化学の進歩と普及のために世界規模で多彩な活動を行っています。

また、理論科学、合成無機化学、有機金属科学、生物無機化学の研究分野で活躍されており、平成 25 年には、優れた研究業績をあげた研究者に贈られる日本学士院賞を受賞されました。平成 23 年 4 月には、日本とドイツの学術発展に貢献した研究者に贈られるザイボルト賞を受賞されているほか、同年 5 月には、独ミュンスター大学より名誉博士の称号を授与されています。

選挙結果は以下のとおりです。

【役員】

次期会長: Daya Reddy (South Africa)

副会長(科学計画・評価担当): Jinghai Li (China: CAST)

副会長(渉外担当): Michael Clegg (USA)

SG(専務理事): David Black (Australia)

財務担当: Barbara Erasmus (IUPAP)

【理事】

ナショナルメンバーから選出

- 1 John Ball (UK)
- 2 Raghavendra Gadagkar (India)
- 3 Nicole Moreau (France)
- 4 Kazuyuki Tatsumi (Japan)

ユニオンメンバーから選出

- 1 Manuel de Leon (IMU)
- 2 John Buckeridge (IUBS)
- 3 Orhan Altan (ISPRS)
- 4 Cheryl de la Rey (IUPsyS)